



中春別小学校  
学校便り

# 窓

第4号

発行責任者 校長 荒 雅 樹  
平成30年6月29日 発行

## 6月の学び～運動を通して～

一月ほど前になりますが、今年度は大晴天の中、運動会を行うことができました。多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただきました。

一生懸命練習し、準備をしてきた子ども達にとっても、とても意義ある一日となりました。皆様から、頂いたご声援や拍手に後押しされ、練習以上の力を出し切る、あるいは出し切ろうとする子ども達の姿がありました。皆様の応援や励ましが、子ども達に勇気を与えることを目の当たりにしました。

運動会後に、書いた子ども達の作文や絵などには、競技中の気持ちや思い、あるいは感じたことなどが表現されていました。例えば、「負けたけど楽しかった。」「応援してくれたから、頑張れた。」「頼むぞ。」「力を合わせたからできた。」「最後まであきらめなければあきらめるより後悔しない！！」などの言葉がありました。子ども達が、自分の運動会を振り返り、自分で学んだことをきらきらと光る言葉で表現していることに驚きました。振り返ることの大事さや言葉の持つ力を改めて感じました。

6月の2週目には、新体力テストを全校で行いました。1年生と6年生。2年生と5年生。3年生と4年生。のペアでそれぞれ学団4チームに分かれて50m走、ボール投げ、反復横とびなどの種目に取り組みました。ここでも学び合いがありました。例えば、1年生と6年生が長座体前屈測定をしたときのことです。まず、6年生が測定する時には、「お兄ちゃん頑張ってる。」あるいは、記録に対して「すごい！！」と1年生が声を上げます。1年生の時には、「頑張れ。」「もう少し曲げて。」と6年生が声をかけます。そのお互いの声の相乗効果により、集中し自分の力を出し切ろうとする子ども達の姿がありました。



同じようなことは、6月22日に行った小野沼公園での遠足でも見られました。疲れて来たのか足取りが重くなってきた友達に声をかけたり、一緒に歌ったり、しりとりをしたりなど、友達同士互いに励ましあう姿がありました。おかげで、自分の挑戦した距離を全員が歩ききることができました。(天候の心配があり、4～6年生は帰りの道5kmに、挑戦できませんでしたが・・・)

体育的行事は、運動を楽しむことや体力の向上が大きな目標の一つとなります。他にも責任感や連帯感の涵養などを学ぶことも大切な目標となります。この6月の取り組みを通して、子ども達は又ひとつ成長することができました。

いよいよ7月に入ります。7月は、1学期の学習や生活を振り返り評価をする時期です。子ども達自身が1学期の立てた目標に向かって「どれくらい頑張れたか」など自己評価するように、学校も、1学期の教育活動や学校運営などを振り返り、自己評価をします。

保護者の皆様にも4月から進めて参りました本校の取り組みについての「教育活動アンケート」を実施いたしますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(6月29日 校長 荒 雅樹)